太宰府市立太宰府中学校
学校だより

飛 梅

第７号
令和８年１１月２日
文責：校長　八尋 純次



文化に浸る時間となりました。





「SPARK　～その一瞬が絆の SWITCH～」でした。スローガンには、「一人一人の笑顔や個性を大切にして、みんなが明るく輝いてほしい」「火花が散る短い時間のようにあっという間に過ぎていく文化祭の取組の中で、みんなの絆を深めていこう」という実行委員の思いが込められています。「挑戦し、周りの人を大切にし、いろいろな考えを認め合いながら取り組む」ことを生徒のみなさんが表現してくれた文化祭でした。展示では、国語科、社会科、理科、家庭科、英語科、美術科、あさかぜ学級の作品など一生懸命に制作したことが伝わる作品がたくさん並びました。体育館には、美術部が心を込めて制作した、生徒会スローガン「SWITCH」をイメージした作品が飾られました。ステージ発表では、バレエ、空手の型の演舞、ブレイキン、バンド演奏をしてくれました。生徒会役員による劇は、会場全体を楽しませてくれました。吹奏楽部による演奏は、日頃から人に伝えることを意識しながら練習していることがよく分かる、迫力ある演奏で、とても素晴らしかったです。そして、プラム・カルコア太宰府で実施した合唱コンクールは、太宰府中学校のみんなの美しく迫力のある歌声が重なり、美しいハーモニーが聴く人の心に響きました。１年生は元気な歌声、２年生は力強くきれいな発声、３年生は詩の世界を表現した一体感のある合唱でした。最後に全校生徒で歌った混声四部合唱の校歌は立派でした。太宰府中のみんなが一つになっていると感じる瞬間でした。生徒のみんなの真剣な姿を見て、やっぱり「みんなで協力して１つのものをつくる姿は素敵」だと感じました。

生徒、教職員みんなで、九州交響楽団の演奏を聴きました。



１０月１４日（水）に、プラム・カルコア太宰府において、「中学生の未来に贈るコンサート」が実施されました。このコンサートは、公益財団法人福岡県市町村振興協会の主催で、中学生に音楽・芸術文化に親しみをもってもらうことを目的に、平成１７年度から継続して実施されています。各市町村とも３年に一度開催していただいており、太宰府市は今年が開催の年でした。当日は、九州で唯一のプロのオーケストラである九州交響楽団の演奏をみんなで聴きました。約７０分間の演奏でしたが、聞き入ってしまい、あっという間に時間が過ぎました。演奏の合間には、代表生徒３名による指揮体験があり、３名とも上手に指揮をすることができていました。音楽の授業やテレビ等で聴くオーケストラの演奏では味わえない、迫力のある生演奏を聴くことができ、幸せな時間となりました。

第49期生徒会の始まりです。全員でさらに生徒会活動を充実したものにしましょう。

１０月１３日（火）に生徒会役員認証・交代式を実施しました。第４８期生徒会は「SWITCH～自分を動かすのは自分自身～」というスローガンのもと取り組んでいます。人に言われてからではなく、自主的に行動していくことを目標に取り組んできた生徒会活動によって、太宰府中学校は本年度も生徒が主体的に活動し、笑顔あふれる学校になってきたと思います。努力し続けた第４８期生徒会の思いは、必ず第４９期生徒会に引き継がれていくはずです。生徒会役員認証・交代式は、第４９期生徒会の会員全員で「今以上に太宰府中学校をよい学校にする」という決意を確認する場となりました。令和９年度に向けての準備が始まります。１、２年生のみなさん、あなたたちが後輩を迎える準備をするのです。３年生のみなさん、卒業まで１、２年生をしっかりと支えてください。

1、2年生が3年生の思いを受け継ぎ、中体連新人大会で頑張っています。

１、２年生は、３年生が引退してからの約３か月間、自分たちがどのような部活動にしたいのかを考え、日々の練習に取り組んできました。３年生から受け継いだ思いを忘れずに、どの部も新人大会で力を発揮しようと努力してきました。剣道部男子は、筑紫区大会準優勝、筑前地区大会ベスト８でした。剣道部女子は、筑紫区大会優勝、筑前地区大会準優勝で県大会に出場します。女子バレーボール部は、筑紫区大会４位で筑前地区大会に出場します。女子バスケットボール部は、筑紫区大会優勝で筑前地区大会に出場します。

新人大会で目標を達成できなかった部は、自分たちの課題を部員みんなで共有して、気持ちを１つにして少しずつ克服し、夏の大会に向けた新たな目標を立てて頑張りましょう。